

多摩市の特別支援教育についてのアンケート

本調査は、特別支援学級や特別支援教室、きこえとことばの教室を利用して
いるお子さまの保護者へのアンケートです。いただいたご意見を次の多摩市特
別支援教育推進計画策定の参考とさせていただきます。なお、本調査は明星大
学小貫 悟(こぬき さとる)教授の研究室にて分析の支援を受けています。アン
ケート結果については厳重に匿名化された上で、個人を特定されないような統
計的処理がおこなわれます。分析結果についてはその後、明星大学の学術研究
にも活用される場合があることに、ご理解、ご同意の上、本アンケートへのご
協力をお願いいたします。ご協力は任意です。

調査の回答方法は次の3つです。



<https://logoform.jp/form/4N4o/602086>
『LoGoフォーム二次元コード』

- ①右の二次元コードまたはURLから**LoGoフォーム**で回答
- ②同封の返信用封筒で**郵便ポスト**へ投函（郵送料はかかりません）
- ③在籍の学校または教育センターに直接持参

調査回答期間は、**令和6年7月16日火曜日**までです。

多摩市の特別支援教育をよりよくしていくためにぜひみなさまのご意見をお
寄せください。ご協力よろしくお願いいたします。

【問い合わせ】多摩市立教育センター事務室 諏訪5-1

TEL 042-372-1010

FAX 042-374-1074

※ 該当する番号に○をつけてください。

お子さまの校種を教えてください。

- | | |
|--------|--------|
| 1. 小学校 | 2. 中学校 |
|--------|--------|

お子さまの学級種別等を教えてください。

- | | |
|-----------|------------------------|
| 1. 特別支援学級 | 2. 特別支援教室またはきこえとことばの教室 |
|-----------|------------------------|

(1) 学校での個別的な配慮について（質問数は、1～9問です）

質問1 これまでに（在籍以来）学校が、学級全体への指導や支援とは別にお子さまに対する具体的な配慮（以下、配慮）をしたことはありますか。

1. ある (⇒質問2へ) 2. ない (⇒3ページ(2)へ)

質問2 その配慮をするきっかけは何でしたか。

1. 学校からの提案 2. お子さまから学校への相談 3. 保護者と学校との相談 4. 専門機関の指導・助言 5. その他（ ）

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。

[illegible]

質問4 その配慮が決まるまでに、学校とどのような場でやりとりしましたか。

1. 担任との面談 2. 管理職を交えた面談 3. 相談機関を通して
4. 電話連絡 5. 連絡帳でのやりとり 6. その他（ ）

質問5 そのやりとりの中にお子さまの意見は入っていると思いますか。

1. 入っている 2. 一部入っている 3. 入っていない 4. わからない
5. その他 ()
(⇒1、2の方は質問6へ)

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。

[illegible]

質問7 学校とのやりとりで決めた配慮は、お子さまへの支援に有効でしたか。

- | | | |
|---------------------------|------------|------------------------|
| 1. 有効だった
(⇒1、2の方は質問8へ) | 2. 一部有効だった | 3. 有効ではなかった
(⇒質問9へ) |
|---------------------------|------------|------------------------|

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。
自由にご記載ください。

--

質問9 決まった配慮内容について、その後学校と見直す相談などはおこないましたか。

- | | | |
|----------|-------------|------------|
| 1. おこなった | 2. おこなわなかった | 3. その他 () |
|----------|-------------|------------|

(2) 合理的配慮について (質問数は、2～6問です)

解説：合理的配慮とは、お子さまが学校生活を送る上で、課題と感じていることについて、本人・保護者と学校の意見を一致させておこなわれる解決策です。

この合理的配慮を得るためには、①保護者・本人が申し出て、②課題の解決のためにできること・できないことを学校と一緒に考え、③学校と対話を重ね一緒にあって解決策を導き出す、ことが必要とされています。

質問10 「合理的配慮」について、どのくらい知っていますか。

- | | | |
|------------|-----------------|-----------|
| 1. よく知っている | 2. 言葉だけ聞いたことがある | 3. よく知らない |
|------------|-----------------|-----------|

質問11 お子さまが「合理的配慮」を得られるように保護者から申し出たことはありますか。

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 申し出たことがある
(⇒質問12へ) | 2. 申し出たことがない
(⇒4ページ (3) へ) |
|--------------------------|-------------------------------|

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。

--

質問13 申し出たことについて、学校と対話を重ねられたと感じましたか。

1. 感じた 2. ある程度感じた 3. 感じなかった

質問14 申し出たことについて、学校とどのような場でやり取りがおこなわれましたか。

1. 担任との面談 2. 管理職を交えた面談 3. 相談機関を通して
4. 電話連絡 5. 連絡帳でのやりとり 6. その他（ ）

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。

--

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について（特別支援学級在籍の方は、質問16、質問17、質問18、質問19、質問20-1にお答えください。質問数は、5～7問です）

質問16 学校が作成した個別指導計画は、保護者と共有されていますか。

解説：個別指導計画とは、児童・生徒一人一人の実態を的確に把握して適切な指導をおこなえるように、指導目標、指導内容、指導方法を明確にしたものです。保護者やお子さまの願いを踏まえて作成した「学校生活支援シート」という支援計画を基に作成し、作成後は、定期的に実施状況の振り返りや見直しをおこないながら、適切な指導や必要な支援を進めることが大切とされています。

1. 共有している 2. 共有していない

質問17 個別指導計画は、学校生活の中でどのような指導や支援がおこなわれるか、具体的にイメージできるものですか。

1. はい 2. いいえ

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。

質問19 個別指導計画について、お子さまの意見はどのくらい入っていると思いますか。

1. 入っている 2. 一部入っている 3. 入っていない 4. わからない

質問20-1 (特別支援学級在籍の方) 交流及び共同学習においてどのような交流や学習をしていますか。自由にご記載ください。

解説：交流及び共同学習とは、特別支援学校や特別支援学級の児童・生徒と通常の学級の児童・生徒が共に活動したり学習したりすることです。お互いに尊重し合いながら豊かな人間性を育むことを目的とする“交流”の側面と、教科等の学習のねらいの達成を目的とする“共同学習”の側面がありますが、二つの面を分けずに合わせて取り組むことが大切とされています。

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。自由にご記載ください。

質問21 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室と在籍学級の間で、どのようなことを共有したり、調整したりしてほしいですか？特に大切だと思うものを選んでください（複数回答可）。

1. 特別支援教室やきこえとことばの教室での指導内容
2. 在籍学級でもおこなえる支援方法
3. 特別支援教室やきこえとことばの教室と在籍学級での様子の共有
4. 在籍学級での困り感 5. その他（ ）

質問22 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室の退室にあたって重要と考えることは何ですか。

1. 在籍学級での適応 2. 本人の意思 3. 特別支援教室の判断
4. 保護者の意思 5. その他（ ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。